

活動の原点に立って

代表理事 村井 宏

現在、環境の分野に限らず、市民・企業・行政・学者研究者が一体となってパートナーシップ活動が、全国的に展開されております。パートナーシップとは、一般に異なる組織が共通の目的を達成するために、それぞれの資質を生かしながら、対等の立場で協力活動を行うこととされています。簡単にとらえると、「協働」や「協力」という意味にもなるようです。

私たちの団体は、平成14年に県内の地域や行政の要望に応え、有志が合い集まって組織化し16年に法人化しました。組織の規模も資金力も大きくありませんが、行政と対等の関係を保ちながら会費とボランティア活動のもとに、環境分野の幅広い専門的な会員によるネットワーク形成に努めてまいりました。

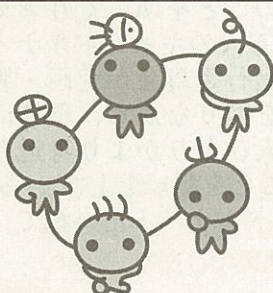
平成18年度4月からは、盛岡駅西口アイーナ5階において「環境学習交流センター」業務の受託と、既に指定を受けていた「岩手県地球温暖化防止活動推進センター」業務を合わせ、以来、継続して県民の学習拠点としてスタッフともども、「環境・ひと・情報」の視点にたって活動を支援することに心がけ、地域貢献にささやかな努力を続けて参りました。

ただ、これまでのような県や国等からの受託業務に依存する活動が、私たちが当初目指していた理念に合っているのかどうか、それと行政との現在の対応が、この団体としてのあるべき姿なのかなどに関し、時折仲間と議論し思い悩むことも少なくありません。ただ地球規模あるいは地域の環境保全という活動は、個人や単一組織の努力だけでは効果が薄く、多くの人々との連携効果で増幅されることを考えるとき、私たちの活動がその面で少しは役立っているのではないかという自己評価もしております。

しかしながら、「環境パートナーシップいわて」としての自主活動の不足や受託業務に対する連携・情報伝達が不十分なため、会員離れが進んでいることに深く反省をしております。幸い欠員理事及び事務局長の補充や事務局の整備が進み、漸くセンターのスタッフも業務になれ、本来の活動の展開が可能となって来ております。発足当時の熱い思いを胸に、活動の原点に立って会員の皆様のご支援を頂きながら、役職員が一体となって頑張る覚悟でおります。

この機会にこれまでできなかったことを反省し、先進のパートナーシップ組織の取り組みを学びつつ、点から線にそして面へと地域活動の輪を広げ、環境団体の中間支援にも貢献していくことを、基本的なテーマにしたいものです。この活動の持続的な発展は、多様な識見を持つ会員皆様との信頼、合意形成と真の協働にかかっているものと信じております。何卒よろしくご支援ご鞭撻のほどをお願い致します。

「岩手県地球温暖化防止活動推進センター」の継続再指定を受ける！



指定団体の募集に応じて、継続指定を受けるように申請した結果、これまでの活動実績が評価され、平成19年3月23日に岩手県知事から承認されました。今後3年間の対応が求められています。



第4回通常総会の報告

今期通常総会は、7月8日（日）14時30分からアイーナ812会議室で会員約50名参加のもと開催。来賓岩手県知事（代理 岩手県環境生活部長 菊池秀一氏）をお迎えし、ご祝辞をいただいた。



議長に相談役（会員）中原祥皓氏を選び、18年度の事業及び決算の報告と本年度の事業及び収支予算計画を主な議題として上程され、原案を一部修正し議決承認された。



18年度事業の概要(自主事業と受託事業)

〈自主事業〉

- ① 二酸化炭素排出抑制対策（環境省補助事業）
- ② 環境アイデアコンクール
- ③ 新植地の保育
- ④ 100万人のキャンドルナイトinいわて
- ⑤ 岩手県環境基本計画市民提案プロジェクト
- ⑥ 環境パートナーシップの集い
- ⑦ 情報提供

〈受託事業〉

- ① 環境学習交流センター管理運営（岩手県）
- ② 地球温暖化防止活動推進業務（岩手県）
- ③ 地球温暖化防止活動推進員パワーアップ事業（全国センター）
- ④ エコショップいわて認定制度実施（岩手県）
- ⑤ CO₂ダイエットポイント推進（岩手県）
- ⑥ 森・川・海連携フォーラム企画開催（岩手県）
- ⑦ 気仙川流域環境フォーラム（岩手県）
- ⑧ 教育リーダー基礎講座（文科省・環境省）
- ⑨ 環境フォーラム（岩手県）

19年度事業計画のあらまし(自主事業と受託事業)

〈自主事業〉

- ① **環境アイデアコンクール**
地球温暖化防止、リサイクル、ゴミ減量化等の環境に関する取り組みや、アイデアを県内の事業者、環境団体、市町村、学校等を対象に広く公募し、選定するとともに、これを県民に情報発信し、県内における環境保全に関する自主的な取り組みを促進する。
- ② **アイーナ夜学**
18年度に引き続き、「エコロジカル・フットプリント夜学」を開催する。
- ③ **岩手県環境基本計画市民提案プロジェクト**
岩手県環境基本計画について、市民、行政、事業者がともに集まり、市民参加による環境問題解決のための提案を行う。
- ④ **環境パートナーシップの集い**
開催場所 いわて県民情報交流センター
開催日時 平成19年7月8日 13:30～14:30
内 容 詳細は4頁参照
- ⑤ **情報提供・会員の拡大**
 - ・ホームページの運営
 - ・リーフレットの改訂作成

- ・ニューズレターの発行
 - ・岩手日報夕刊「環境を考える」の継続投稿(会員)
 - ・会議や行事等のPR、チラシ等を配布
- ⑥ **普及啓発・広報事業**（環境省補助事業）
あらゆる機会、場所、手段を講じて、『地球温暖化問題の重要性』や『早急な対策・取り組みの必要性』また『どのような取り組みが効果的であるか』等の情報を提供し、地域として取り組みを行う上で、人材（地域リーダー）の養成と教材の整備を行うことを目的とする。また、地域を巻き込んだキャンペーンやイベントを開催し、温暖化防止の機運を高めることとする。
 - ⑦ **キャンドルナイト**
夏至と冬至の夜の2時間だけ電気を消して、ローソクによるスローな時間のなか、環境のことや、地球のこと、社会や仲間のことをゆっくり考えてみよう、始められた100万人のキャンドルナイト。特に今年から県内各地で実行委員会が企画・製作運営し地域の方々と交流を図りながら、環境活動に関する意識を高め、一人ひとりがより身近な環境を考える機会を与えることを狙いとしている。
 - ・夏至、100万人のキャンドルナイトinいわて

日時 6月23日 場所 滝沢村埋蔵文化センター
 内容 展示・屋外屋台・コンサート・野焼き等
 ・冬至、100万人のキャンドルナイトinいわて
 「環境に関する講演会・トークショー」を企画中

⑧ いわての森からのやさしいおくりもの

i-Systemプロジェクト

岩手県森林税の有効活用と具体的事業を考査し、市民の目で検証・証言・アイデアを出し合う。京都議定書発効にともない、県民の地球温暖化防止活動を林業活用の視点から考える。循環型社会の構築として、吸収権の普及を含めた県民へのアピール。

CDMの研究(温室効果ガス吸収権)

・開催日 平成19年8月19日(日)10時~12時

・場所 アイーナ5階 環境学習交流センター内

⑨ 雫石川流域の環境学習会

雫石川や御所ダム周辺の施設を使って、水辺の環境学習会を、年数回行います。さらに、それをもとに雫石川の環境マップを作成予定。

・実施期間 平成19年6月30日~20年2月20日

⑩ 環境パートナーシップの運営

環境パートナーシップの拡大と充実を図るため、活動を活発化させ、会員の拡大を促進するとともに、全県規模の環境団体として信頼性を高め、提案型の事業を増やし、団体の自立に向けた活動を随時展開。

・第4回通常総会 平成19年7月8日(日)

いわて県民情報交流センター

・理事会を開催(年4~5回開催)

第1回は7月8日に、第2回は7月19日に開催

〈受託事業〉

① 環境学習交流センター管理運営(岩手県)

目的 「環境学習交流センター」は、環境首都いわての実現に向けて、県民が環境問題に取り組み、環境保全活動を通じて交流するために、情報提供、学習支援、活動・交流支援の3つ基本的な機能に沿って事業を行う。

② 岩手県地球温暖化防止活動推進センター

運営(岩手県)

CO₂ダイエット・マイナスいわて推進事業

目的 地球にさまざまな影響をもたらすとされる地球温暖化問題が大きく取り上げられている今日にあって、県民や事業者、また地域において、地球温暖化防止の必要性及び重要性を理解し、身近にできる継続的な実践、温暖化防止に意欲的な行動につなげられるよう、普及啓発運動や支援活動等を通じて推進し、効果的に地球温暖化防止の輪を広げていくことを目指す。

(1) CO₂ダイエット・マイナス8%いわて推進事業

(2) CO₂ダイエットポイント推進事業

(3) 地球温暖化防止活動推進員活動支援事業

(4) 拠点活動事業

(5) 一村一品・知恵の環事業

③ 地球温暖化防止活動推進員研修事業(岩手県)

地球温暖化防止活動推進員活動支援事業の一環として、岩手県内県及び県センターが主催する研修会に参加する推進員(全県で40名見込み)の諸活動を多角的に支援していくため、今年度は、地球温暖化問題及び温暖化防止活動に関する最新の情報を基に共通認識を深め、地域での取組みを促すための実践的な手法等を提示しながら、推進員の着実な資質向上に資するよう配慮するとともに、専門的分野に関する研修意欲の高まりにも対応を図ることとする。

④ エコショップいわて認定制度実施業務(岩手県)

「エコショップいわて認定制度実施要領」、「エコショップいわて認定制度実施要領の運用について」及び「エコショップいわて判定委員会設置要領」に基づいて、認定制度の普及啓発、認定申請の審査等を行う。

・実施期間 平成19年5月31日~平成20年3月31日

⑤ いわて森林環境学習推進業務(岩手県)

地球温暖化対策に果たす森林の役割など、森林・林業に対する情報の提供、関係するデータベースの構築を図り、森林学習活動を推進する。

・実施期間 平成15年8月6日~20年3月25日

新理事の紹介<梅野・山田両氏の辞任にともなう補充>



(有)森と緑の研究所
総務企画部長

ふるさわ もとお
古澤 元雄

総務担当の他に事務局長も兼務せよということなので、いろいろ皆様のお世話になることが多いと思います。よろしく願いいたします。長い間(社)東北地域環境計画研究会事務局長を勤めた経験を生かします。



岩手医科大学医学部
衛生学公衆衛生学客員教授

なかや しげなお
中屋 重直

昭和24年盛岡市生まれ。岩手医科大学医学部で衛生学を専門にしてきました。現在、関東自動車工業(株)岩手健康管理センター所長。衛生学というのは、「人の生命・生活・生産をまもること」で、私は公害病や職業病を扱っています。

はたけやま みなみ

事務局員の紹介: 畠山 水脈

盛岡市出身。平成19年1月から、センターのスタッフと環パい事務局を兼任し、古澤理事を補佐し頑張っています。やさしい笑顔と明るい電話の対応はおまかせください!

19年度第1回環境パートナーシップの集い開催される

と き 19年7月8日

ところ いわて県民情報交流センター812会議室

講演 「岩手の希少植物と環境について」 講師 岩手植物の会会長
猪苗代正憲氏

話題提供 「アイーナ夜学について」 提供者アイーナ夜学実行委員会
担当 理事 佐々木明宏氏



8~9月に開催される環境学習センターの主な催しの紹介

8月18日(土) 10時~12時、14時~16時 第5回環境学習講座
(トリアムキャッチャー作りおよびネイティブアメリカンの話)

8月19日(日) 10時~12時 岩手の森からのやさしい贈り物(i-System
プロジェクト)

8月23日(木) 18時30分~20時30分 ごみゼロプロジェクト&「地球1個分
のくらし?エコロジカル・フットプリントPart.18」夜学

9月16日(日) 10時~12時 第6回環境パートナーシップ会議

9月20日(日) 18時30分~20時30分 ごみゼロプロジェクト&「地球1個分
のくらし?エコロジカル・フットプリントPart.19」夜学

お知らせ

・いわて環境フォーラム2007イン盛岡 の開催について

- ① 開催期日 平成19年11月23日(祝)
- ② 開催場所 いわて県民情報交流センター
- ③ 参加対象 県民一般
- ④ 目的 県内の環境保全活動団体間の連携および県民が自発的に環境保全活動に参加するよう、普及啓発を行う。
- ⑤ 内容
 - ・平野 次郎(学習院女子大学教授)講演会
 - ・ポスターセッション
 - ・一村一品発表会
 - ・エコショップいわて認定店意見交換会
 - ・分科会

会員の皆様!当日はエコクッキングの炊き出しも有ります!どうぞ会員以外の方も多数お誘いして、是非ご参加下さい。

・連携団体からのイベントニュース

- ・(社)東北地域環境計画研究会
森の再生1(植樹活動)夏季~秋季
於松尾村(旧松尾鉱山)
- ・森の再生2(カラマツ間伐運動会)9月30日(日)
於川井村
いずれも申込みの上参加
- ・盛岡市
あかばやし探検隊 平成19年度隊員募集
毎月第4日曜日
- ・場所 都南つどいの森 対象:小中学生

- ・リーフレット「環境パートナーシップいわて」平成19年度版を作製しました。環パいのPRや会員拡大のために、積極的に活用して下さい。お求めいただければ、お送り致します。

・会員の皆様へ

- ・住所、電話、FAX、メール等が変更になられた場合は、ぜひ事務局へお知らせください。
- ・19年度の会費の未納の方は納入をお願いいたします。同封の郵便局振込用紙をご利用ください。

編集後記

都合で休刊中のニュースレターをお送りします。皆様のご協力・ご意見をいただきながら、新聞を充実していきたいと考えております。今期3~4回刊行する予定ですが、皆様からの情報提供をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

(担当理事 古澤)

発行:特定非営利活動法人
環境パートナーシップいわて事務局
020-0124 盛岡市厨川5-8-6
TEL 019-643-8570 FAX 019-643-8573
e-mail kanpai@utopia.ocn.ne.jp